



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 株式会社日伝 上場取引所 東
コード番号 9902 URL <https://www.nichiden.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 福家 利一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 寒川 睦志 TEL 06-7637-7000
管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	62,450	△4.5	2,854	△8.6	3,283	△6.7	2,514	4.0
2023年3月期第2四半期	65,380	10.5	3,124	30.9	3,518	32.1	2,418	27.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,756百万円 (46.1%) 2023年3月期第2四半期 1,886百万円 (△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	80.78	—
2023年3月期第2四半期	77.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	120,772	85,459	70.8
2023年3月期	122,806	86,319	70.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 85,459百万円 2023年3月期 86,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	0.3	5,600	△10.9	6,200	△8.2	4,300	△13.4	138.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	31,886,000株	2023年3月期	31,886,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,203,991株	2023年3月期	482,542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	31,132,608株	2023年3月期2Q	31,403,458株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化に伴い、一部では緩やかな回復の動きを見せたものの、中国をはじめとした海外景気の減速・停滞の影響もあり、やや厳しさを増す状況となりました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、円安や原材料高、人件費の増加等が企業の業績に影響を及ぼし、機械受注もマイナスを示すなど、設備投資にも一服感が見え始めております。

このような状況の下、第3次中期経営計画『New Dedication2023』～新たな貢献へ～の最終年度の取り組みを着実に実行し、継続的な成長と持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

具体的には、7月に「インダストリーフロンティア 2023 “つながる工場” 推進展」に出展し、人手不足・労働力不足といった社会課題の解決策として、工程間搬送や設備管理の自動化提案を実施いたしました。8月には「第2回 国際発酵・醸造食品産業展」に出展し、独自開発の超音波ユニットを搭載した噴霧機「Elimina」をご紹介いたしました。

設備面では、9月に手狭となっておりました神戸営業所を新築移転いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高624億5千万円（前年同期比4.5%減）、営業利益28億5千4百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益32億8千3百万円（前年同期比6.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、25億1千4百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億3千3百万円減少し、1,207億7千2百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億6千9百万円減少し、813億1千万円となりました。これは、現金及び預金が5億1千5百万円、有価証券が10億3百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が19億3千万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億6千3百万円減少し、394億6千2百万円となりました。これは、投資有価証券が6億6千9百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ11億7千3百万円減少し、353億1千2百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ11億5千8百万円減少し、274億2千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10億4千2百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1千5百万円減少し、78億8千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が6億3千3百万円増加したものの、自己株式の取得により17億3千5百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億5千9百万円減少し、854億5千9百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億3千1百万円増加し、158億9千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、40億9千9百万円(前年同期において使用した資金7億9千2百万円)となりました。これは主に、法人税等の支払額が13億7千7百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が36億9千9百万円、減価償却費が6億7千3百万円、売上債権の減少額が20億8千2百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8千3百万円(前年同期において使用した資金11億8千5百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入が6億4千3百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が4億4千3百万円、投資有価証券の取得による支出が2億4千9百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、39億5千2百万円(前年同期において使用した資金22億7千1百万円)となりました。これは、配当金の支払額が20億3千4百万円、自己株式の取得による支出17億4千万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2023年5月9日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,872	16,388
受取手形、売掛金及び契約資産	22,428	20,498
電子記録債権	18,272	17,927
有価証券	8,000	9,003
商品及び製品	16,543	16,687
その他	1,067	809
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	82,179	81,310
固定資産		
有形固定資産	19,064	18,961
無形固定資産	557	371
投資その他の資産		
投資有価証券	19,529	18,860
その他	1,474	1,270
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	21,003	20,130
固定資産合計	40,626	39,462
資産合計	122,806	120,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,803	10,760
電子記録債務	12,980	13,469
未払法人税等	1,452	1,192
賞与引当金	596	618
その他	1,749	1,382
流動負債合計	28,582	27,423
固定負債		
退職給付に係る負債	79	86
その他	7,825	7,802
固定負債合計	7,904	7,888
負債合計	36,486	35,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	68,460	69,094
自己株式	△672	△2,408
株主資本合計	80,439	79,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,721	5,892
為替換算調整勘定	158	229
その他の包括利益累計額合計	5,880	6,122
純資産合計	86,319	85,459
負債純資産合計	122,806	120,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	65,380	62,450
売上原価	55,786	53,092
売上総利益	9,594	9,358
販売費及び一般管理費	6,470	6,503
営業利益	3,124	2,854
営業外収益		
受取配当金	134	144
仕入割引	183	158
為替差益	163	149
その他	79	85
営業外収益合計	561	537
営業外費用		
支払利息	84	79
固定資産処分損	75	1
その他	6	27
営業外費用合計	167	108
経常利益	3,518	3,283
特別利益		
投資有価証券売却益	—	459
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	465
特別損失		
役員退職慰労金	—	50
特別損失合計	—	50
税金等調整前四半期純利益	3,518	3,699
法人税、住民税及び事業税	1,110	1,133
法人税等調整額	△10	50
法人税等合計	1,099	1,184
四半期純利益	2,418	2,514
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,418	2,514

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,418	2,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△678	171
為替換算調整勘定	146	70
その他の包括利益合計	△531	241
四半期包括利益	1,886	2,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,886	2,756

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,518	3,699
減価償却費	802	673
売上債権の増減額 (△は増加)	△379	2,082
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,180	△107
仕入債務の増減額 (△は減少)	△456	△296
その他	△876	△572
小計	427	5,478
利息及び配当金の受取額	180	191
利息の支払額	△84	△79
役員退職慰労金の支払額	—	△112
法人税等の支払額	△1,315	△1,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	△792	4,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26	△2
定期預金の払戻による収入	11	18
有価証券の償還による収入	2,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,181	△443
投資有価証券の取得による支出	△1,986	△249
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	643
その他	△24	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,185	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,039	△2,034
リース債務の返済による支出	△231	△177
自己株式の取得による支出	—	△1,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,271	△3,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	122	114
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,126	178
現金及び現金同等物の期首残高	15,652	15,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	353
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,526	15,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月9日開催の取締役会決議等に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式721,449株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,735百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,408百万円となっております。